

ASV技術によるリスク軽減効果の自動車保険 への反映に当たっての課題等について

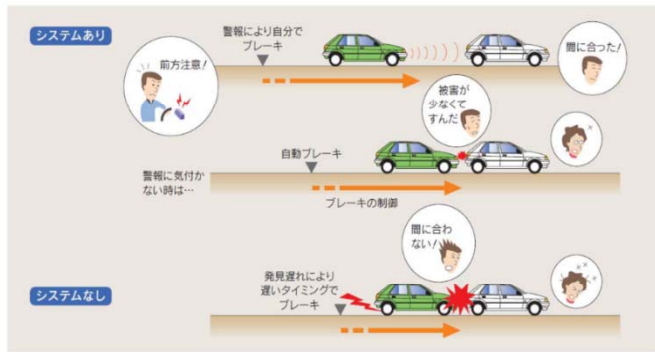
ASV技術について

ASV (Advanced Safety Vehicle [先進安全自動車])

先進技術を利用して **ドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車**のこと。代表例として、衝突被害軽減ブレーキ (AEBS) や車線逸脱警報装置 (LDWS) を装着した自動車が挙げられる。

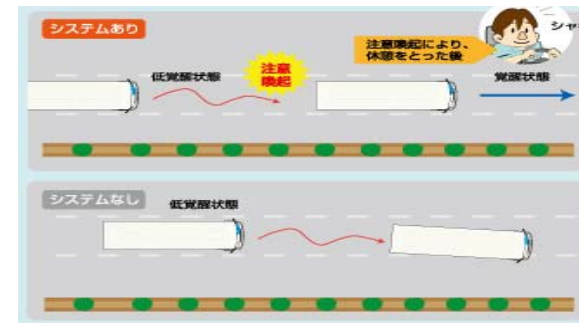
衝突被害軽減ブレーキ (AEBS)

前方の障害物を検知し、衝突による被害を軽減するために、運転者への警報及びブレーキの制御を行うシステム。



車線逸脱警報装置 (LDWS)

自動車が車線から逸脱しようとしている、又は逸脱している旨を運転者に警報することにより車線逸脱を防止するシステム。



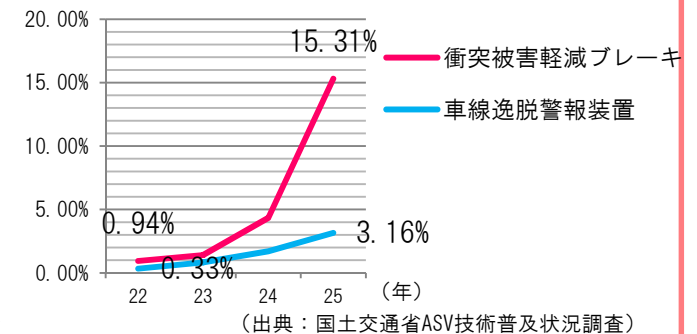
ASV技術の位置づけ

- 日本再興戦略において、安全運転支援システム等の構築によるヒト・モノの安全・快適な移動の実現を国家プロジェクトとして進めるとされるなど、**政府としてその普及を推進しているものの、装着割合は依然として低い。**
- 自動車アセスメントにおいても、平成26年度より衝突被害軽減ブレーキ〔対車両〕や車線逸脱警報装置の性能評価を開始。

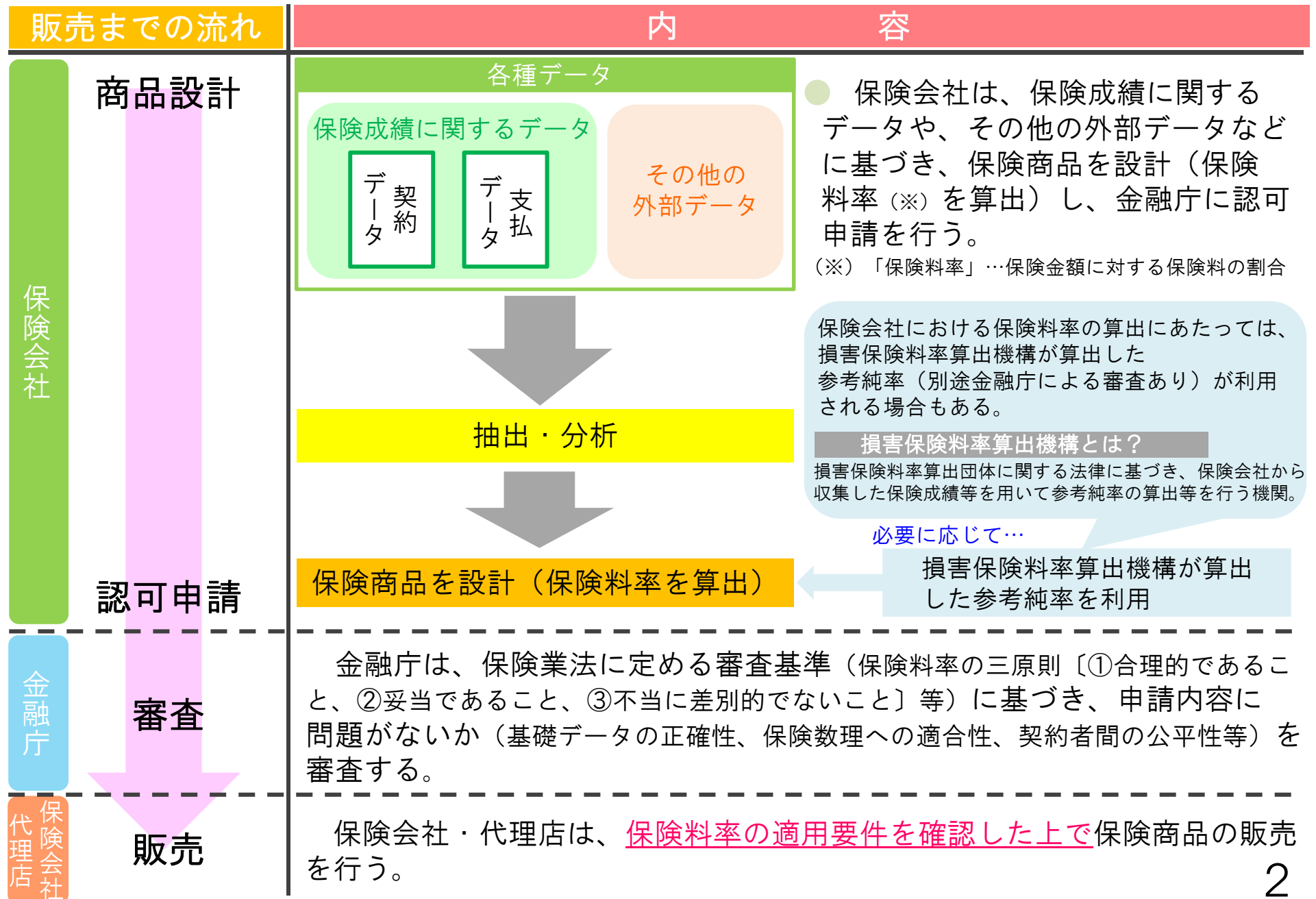
自動車アセスメントとは？

(独)自動車事故対策機構が実施する自動車の安全性能に関する評価であり、その結果をわかりやすい指標の形で国民に公表することにより、安全性能の高い自動車の普及やメーカーによる安全な車の開発意識の向上を図るもの。

〇ASV技術装着台数の割合(対総生産台数)



ASV技術の普及促進を図る方策の一つとして「ASV技術によるリスク軽減効果の自動車保険への反映」を検討する際の前提となる環境整備上の課題等を整理する必要がある。1



ASV技術によるリスク軽減効果の自動車保険への反映に当たっての課題等について

商品設計に関連する環境整備上の課題等

- ASV技術によるリスク軽減効果を自動車保険へ反映させるためには、反映の候補となる「ASV装置」を整理するとともに、「ASV装置」の装着によりリスク軽減効果が認められる範囲・程度を確認する必要がある。



「車両毎のASV装置の装着有無に関するデータ」と「自動車保険の保険成績に関するデータ」をマッチングする方策を講じる必要がある。

自動車アセスメントの活用

自動車アセスメントにおけるASV性能評価の活用可能性についても検討。

商品販売に関連する環境整備上の課題等

- 保険会社・代理店において、販売等にあたって対象車両のASV装置装着の状況を正確に判別する必要がある。



保険会社・代理店が、保険契約手続時点で「車両毎のASV装置の装着有無」等を判別することができる仕組みを構築する必要がある。